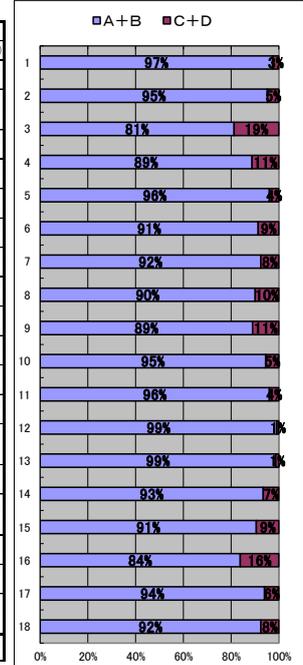


令和4年度後期の学校づくりに向けて —前期学校評価結果のおしらせ—

保護者の皆様には「第五中学校の教育に関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。評価の結果は下記のとおりです。アンケート結果を真摯に受け止め、教職員一丸となって今後の学校づくりを進めてまいります。今後も、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校生活に関するアンケート集計(生徒)

評価項目	評価				割合			昨年度前期				
	①	②	③	④	①+②	③+④	合計	①+②	③+④			
学習自己評価	1 授業開始2分前に着席し、授業の準備をしている。	210	164	10	0	374	10	384	97%	3%	90%	10%
	2 授業中は先生や友達の話に真剣に聞いたりノートをとっていいねに取ったりしている。	208	158	17	1	366	18	384	95%	5%	94%	6%
	3 宿題や提出ノートの毎日提出している。	153	159	56	16	312	72	384	81%	19%	82%	18%
授業評価	4 先生方は、チャイムとともに教室に来ている。	82	259	41	2	341	43	384	89%	11%	87%	13%
	5 先生方の授業はわかりやすい。	190	179	13	2	369	15	384	96%	4%	94%	6%
	6 授業では、自分の考えなどを書く場面がある。	187	164	29	4	351	33	384	91%	9%	89%	11%
	7 授業では、友達と考えを話し合う場面がある。	184	171	26	3	355	29	384	92%	8%	92%	8%
生活自己評価	8 学校での生活は楽しい。	220	126	30	8	346	38	384	90%	10%	86%	14%
	9 さわやかなあいさつができています。	187	155	35	7	342	42	384	89%	11%	88%	12%
	10 時間を守った生活ができています。	182	181	17	4	363	21	384	95%	5%	93%	7%
	11 友達の気持ちを考えた行動をしている。	208	161	12	3	369	15	384	96%	4%	94%	6%
	12 服装を整え、生活の決まりを守って生活している。	315	66	3	0	381	3	384	99%	1%	97%	3%
	13 無言清掃や給食当番など、自分の分担に責任を持って取り組んでいる。	286	93	4	1	379	5	384	99%	1%	97%	3%
	14 生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。	223	136	24	1	359	25	384	93%	7%	90%	10%
生活評価	15 部活動(またはそれにかかわるもの)に意欲的に取り組んでいる。	298	50	9	27	348	36	384	91%	9%	90%	10%
	16 悩みなどの相談に乗ってくれる先生がいる。	158	164	43	19	322	62	384	84%	16%	82%	18%
	17 先生方は、生活の3重点を意識して生活している。	177	184	23	0	361	23	384	94%	6%	90%	10%
	18 学校は、命の大切さや社会のルールを教えてくれる。	224	131	28	1	355	29	384	92%	8%	90%	10%
平均					355	29	平均	92%	8%	90%	10%	



○「学習・授業への取り組み」(項目1〜7)の評価結果を見ますと、昨年度前期の割合と比較して、項目1はA+Bの割合が増え、向上しています。その他の項目もA+Bの割合が総じて高く、本校生徒の学習への取り組み方の良さがうかがえます。

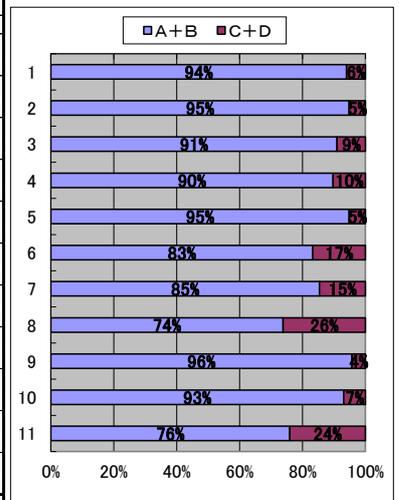
○「学校生活に関する自己評価」(項目8〜15)では、項目8と9のA+Bの数値が他の項目と比べて昨年度前期よりも多少改善していますが、やや低い傾向にあります。1、2年生が新しい環境への適応にやや戸惑っていたのではないかと推察されます。項目15については、部活動未加入生徒が打ち込めるものを見いだせていないのかもしれませんが、本年度もコロナ禍の影響で部活動の本格始動が遅れたり、様々な活動制限があったりしたことも影響している可能性があります。この結果を真摯に受け止め、生徒が楽しみにしている行事等について感染対策を十分に行った上で、やり方を工夫して実施するなどの努力をまいります。

○項目9については、本年度も重点目標にしています。教職員も生徒も、さらにさわやかなあいさつができるように意識し行動していきたいと思えます。特に、学級での取り組み、生徒会や学年のあいさつ活動、部活動などで主体的な活動を大切に考えていきたいと考えています。

○項目12・13ではA+Bの割合において、非常に高い結果を示しています。本校生徒の規範意識の高さを反映しているものと考えられます。この姿を大いに認めつつ、全生徒が学習や学校生活に安心して取り組める雰囲気維持を図っていきたくと考えています。

教育に関するアンケート集計(保護者)

項目	評価				割合		昨年度前期		
	A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D
1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。(学校だより、学校要覧、講話など)	107	112	13	1	233	94%	6%	97%	3%
2 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	105	116	12	0	233	95%	5%	96%	4%
3 学校は、生徒の悩みや相談に対応してくれる。	96	116	20	1	233	91%	9%	93%	7%
4 学校は、家庭への連絡等、丁寧に行っている。	128	81	21	3	233	90%	10%	94%	6%
5 学校・学年・学級便りなどの学校からの情報は、適切な内容である。	142	79	10	2	233	95%	5%	98%	2%
6 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	96	98	34	5	233	83%	17%	82%	18%
7 子どもは、さわやかな挨拶ができています。(学校や地域で)	71	128	31	3	233	85%	15%	81%	19%
8 子どもは、時間を守った生活をしている。	51	121	53	8	233	74%	26%	75%	25%
9 子どもは、中学生にふさわしい服装や態度で生活している。	130	93	9	1	233	96%	4%	97%	3%
10 子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	129	46	6	7	188	93%	7%	93%	7%
11 子どもは、授業が分かりやすいと感じている。	33	144	49	7	233	76%	24%	81%	19%
平均					229	88%	12%	90%	10%



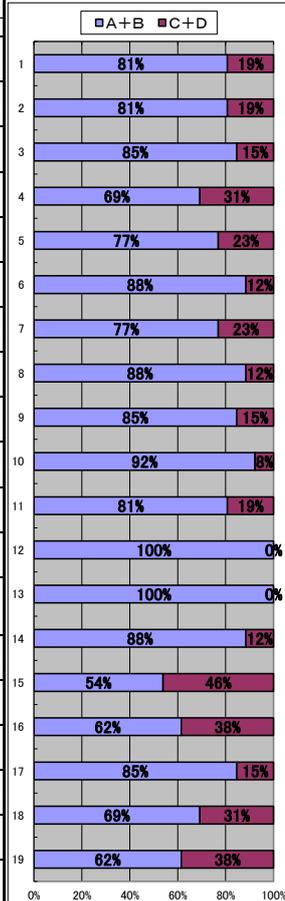
○学校からの情報発信や保護者の皆様との連絡の取り方については、A+Bの割合が90%以上と高い割合ですが、昨年度と比較するとどの項目においてもやや低下しています。特に項目4は4%低下しておりました。後期はご家庭への連絡をより密にしていきたいと思います。

○昨年度から学校の取り組みとして力を入れている「あいさつ」について、昨年度と比較し4%上昇しました。「あいさつ」は社会に出た時にも大切な、最も基本的なコミュニケーションであると考えております。より一層さわやかなあいさつが定着するように、生徒会や学年の活動の一つとして大切にするとともに、教師も共にさわやかな挨拶を心掛けたいと考えております。

○項目11において、授業が分かりやすいと感じていると答えた割合が、生徒96%に対し、保護者の皆様への回答では76%と大きな差がありました。また、授業が分かりづらい教科があるのご意見もいただきました。日頃の授業において、生徒が安心して学習に取り組めるよう、教師間で情報を共有しながら分かりやすい授業に努めます。また、学校長による個別の指導や、全職員で研修を実施するなど、授業力を向上するための工夫をまいります。これからも何かありましたら学校へお知らせいただきたいと思います。ご協力をお願いいたします。

教育に関するアンケート集計（教職員）

領域	具体的方策	評価					評価		割合		昨年度前期	
		A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
教 育 活 動	1 1時間ごとの授業や単元でのつける力の明確化。	5	16	5	0	26	21	5	81%	19%	84%	16%
	2 学び合う授業場面の設定と個に応じた学習指導の工夫。	4	17	5	0	26	21	5	81%	19%	84%	16%
	3 生徒ひとり一人の学びを把握し、個を支援する授業	3	19	4	0	26	22	4	85%	15%	91%	9%
	4 自己評価や相互評価を取り入れた評価（見返し場面の工夫）	2	16	8	0	26	18	8	69%	31%	63%	38%
	5 自分の姿を追求するための体験を通じた授業	8	12	6	0	26	20	6	77%	23%	69%	31%
	6 五人権宣言に基づいた人権同和教育、道徳教育の推進	8	15	3	0	26	23	3	88%	12%	94%	6%
	7 体験を取り入れた総合的な学習の時間の内容の充実	8	12	6	0	26	20	6	77%	23%	81%	19%
	8 意見を言い合える場の設定	6	17	3	0	26	23	3	88%	12%	78%	22%
	9 朝の読書、読書時間中の一斉読書の推進	12	10	4	0	26	22	4	85%	15%	56%	44%
	10 生活の3重点、部活動の重点の深化	7	17	2	0	26	24	2	92%	8%	84%	16%
	11 規範意識の醸成と生命を尊重する指導の充実	8	13	5	0	26	21	5	81%	19%	94%	6%
	12 生徒の訴えや申し出に対する受け止めと即時対応。	11	15	0	0	26	26	0	100%	0%	81%	19%
	13 カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導(よ〜く観る、よ〜く聴く)	12	14	0	0	26	26	0	100%	0%	100%	0%
学 校 運 営	14 学校だより、学年だより等の定期的な発行とHPの更新	9	14	3	0	26	23	3	88%	12%	94%	6%
	15 学校公開の実施と地域講師等の有効活用	0	14	10	2	26	14	12	54%	46%	44%	56%
	16 学級、学年PTAの充実と地域の方々との懇談	3	13	10	0	26	16	10	62%	38%	75%	25%
	17 個に応じた指導法の工夫と指導計画の見直し	5	17	4	0	26	22	4	85%	15%	91%	9%
	18 見合う授業参観やミニ研究会による指導方法や技術の研究	3	15	8	0	26	18	8	69%	31%	59%	41%
	19 公開授業や外部研修会への積極的な参加	3	13	10	0	26	16	10	62%	38%	53%	47%
平均					21	5	80%	20%	78%	22%		



○本校において大切に考えている「生徒が安心して学習、学校生活に取り組めるための規範意識の醸成」「生徒が困難に陥ったときの素早い対応」、また、「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導」について全職員が心掛け、実践しています。今後も引き続き継続してまいります。
 ○学習指導においては、項目8と9において大きな改善が見られました。新学習指導要領のポイントである「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業の中で生徒同士が意見・思いを伝え合い、相互に高め合う対話的な活動をより一層大事にしております。読書活動については「豊かな語彙と感性を身につけ、すべての学習の基礎となる力を得られるもの」として、より充実していけるよう図ります。
 ○項目15、16、19については、昨年度同様、コロナ禍による活動自粛により会議等が実施できなかったため、評価が低くなっています。
 ○項目7についても、コロナ禍の影響が大きく、地域の方との交流が制限されたこと、また校外での学習が十分にできなかったことが、やや低めの評価に反映されています。

<令和4年度前期の学校評価の集計ができましたので、つぎの5点に絞ってご報告いたします。>

☆詳細は、上記の集計表をご覧ください

- 1 生徒の学習自己評価 → 学習に向かう姿勢作りとともに、自分にとって必要な学習を選択し、主体的に学習に取り組む学習習慣の定着をめざし工夫を続けてまいります。
 - 2 生徒の生活自己評価 → 安心・安全で楽しい学校生活を維持していくために、今後も「爽やかな挨拶」を中心に、“生活の三重点”を意識した生活作りに努めてまいります。
 - 3 生徒の授業評価 → 授業の始まりを大切に、じっくり自分の考えをまとめたり、互いに話し合ったりする場面を増やし、思考力・判断力・表現力の育成をはかります。
 - 4 保護者の学校評価 → 概ね本校の取り組みにご理解をいただいていると思います。さらにご家庭との連絡を丁寧に行いながら、地域に開かれた学校作りに努めます。また授業に関しては、1時間の授業でつける力を明確にし、分かり易い授業を目指すとともに、学びが結果に結びつくよう授業を工夫します。
 - 5 学校自己評価 → 教師自身による評価です。生徒一人ひとりの個性が輝き、生徒が生き生きと学べる学校を今後も目指してまいります。
- なお、この集計結果は、学校運営委員やPTA三役の皆様にもお示しし、更に「学校関係者評価」としてご意見や提言をいただいたものをまとめ、設置者である 上田市教育委員会にも報告し、学校ホームページでも公開します。